

里親・養親の子育てに必要なこと

～子どもの発達と事実告知～

社会福祉法人子どもの虐待防止センター（＝CCAP）では、電話相談、特別養親サロンや「アタッチメント形成のための心理療法プログラム」を通じて、里親・養親支援事業を行っています。

里親や養親としてお子さんをご家庭に迎えられたあとの悩みや不安をお一人で抱えていらっしゃるいませんか？この子をどう理解したらよいのか、この子とどう向き合えばよいのか。そして、この子の人生にどのように寄り添ってあげればよいのかなど、すぐには解決できない悩みもおありかもしれません。本研修では、里親や養親の皆さんの悩みに共通するテーマを取り上げました。講義だけではなく、グループワークなどを通じて皆さんにも積極的にご参加頂きながら一緒に考えていきましょう。

※2018年度「アタッチメント形成のための心理療法プログラム」のご案内も予定しています。

【日 時】 2018年3月2日（金）10：00～15：00

【会 場】 飯田橋レインボービル

住 所＞東京都新宿区市谷船河原町 11 (<http://www.ienohikariss.co.jp/bld/map.html>)

アクセス＞JR 総武線「飯田橋駅」西口徒歩 5 分ほか

【対 象】 養育家庭の里親・養親など

【定 員】 50 名（定員になり次第〆切）

※ 若干名保育あり（対象：3才～未就学児・要予約・保育料 1,000 円）

・ 3才未満のお子さんは会場と同席をお願いします

【受講料】 6,000 円（CCAP 賛助会員の方は 5,000 円）

時 間	内 容	講 師（敬称略）
9：30～	受付開始	
10：00 ～11：30	【講 義】 子どもの発達の基礎知識 人間が生まれてからどのように発達していくかを、発達心理学の理論を中心とした講義を行い、皆さんとともに養育中のお子さんについて考えていきます。	水木 理恵／臨床心理士、 CCAP アタッチメントスタッフ
11：30 ～12：00	個人ワーク・質疑応答	
昼 食 休 憩		
13：00 ～14：00	【講 義】 事実告知について考える 告知後、子どもとともに実親の存在をどのように受け止めていけばよいのか？ そもそも事実告知ってなぜ必要なの？などのテーマについて、講義やグループワークを通して考えていきます。	若松 亜希子／臨床心理士、 CCAP アタッチメントスタッフ
14：00 ～15：00	グループワーク・質疑応答	

【 申込方法 】 ※ 入金後の返金はできませんので、ご注意ください。

参加申込書(裏面)にご記入の上、FAXにて子どもの虐待防止センター事務局までお申し込み下さい。
折り返し受講番号と振込口座を FAX 連絡いたします。受講番号確認後受講料をお振り込み下さい。

[申込書送付先]

社会福祉法人 子どもの虐待防止センター FAX 03 - 5300 - 2452

CCAP 主催

2018年3月2日(金) CCAP 養育家庭里親・養親対象研修申込書

WEB

記入日： 年 月 日

ふりがな			
氏名	<input checked="" type="radio"/> CCAP 賛助会員 (いずれかに○) 1. 会員である 2. 会員ではない 3. 入会を申込み		
いずれかに○	1. 養育家庭里親 2. 養親 3. その他 ()		
住所 ※いずれかに○ ・自宅 ・勤務先	〒 ※ 勤務先住所をご記入の場合は、勤務先の名称も忘れずご記入ください		
TEL ※いずれかに○ ・自宅 ・勤務先	(日中連絡可能な番号をお書き下さい)	FAX ※いずれかに○ ・自宅 ・勤務先	
質問など			

*CCAP 賛助会員とは当法人活動に賛同し、年会費をもって活動を経済的に支援して頂く方です。年会費は一口 5,000 円 (4 月～翌 3 月迄の年度制) で、会員の方には当法人主催のセミナーに会員割引でご参加いただけるほか、セミナーのお知らせや虐待に関する取り組みをレポートする機関紙「CAP ニュース」(季刊)をお送りしています。入会をご希望の方は、事務局までご連絡下さい。

[問い合わせ連絡先] 社会福祉法人 子どもの虐待防止センター事務局

〒156-0043 東京都世田谷区松原 1-38-19 東建ビル 202

電話 03-5300-2451 Fax 03-5300-2452 URL <http://www.ccap.or.jp>